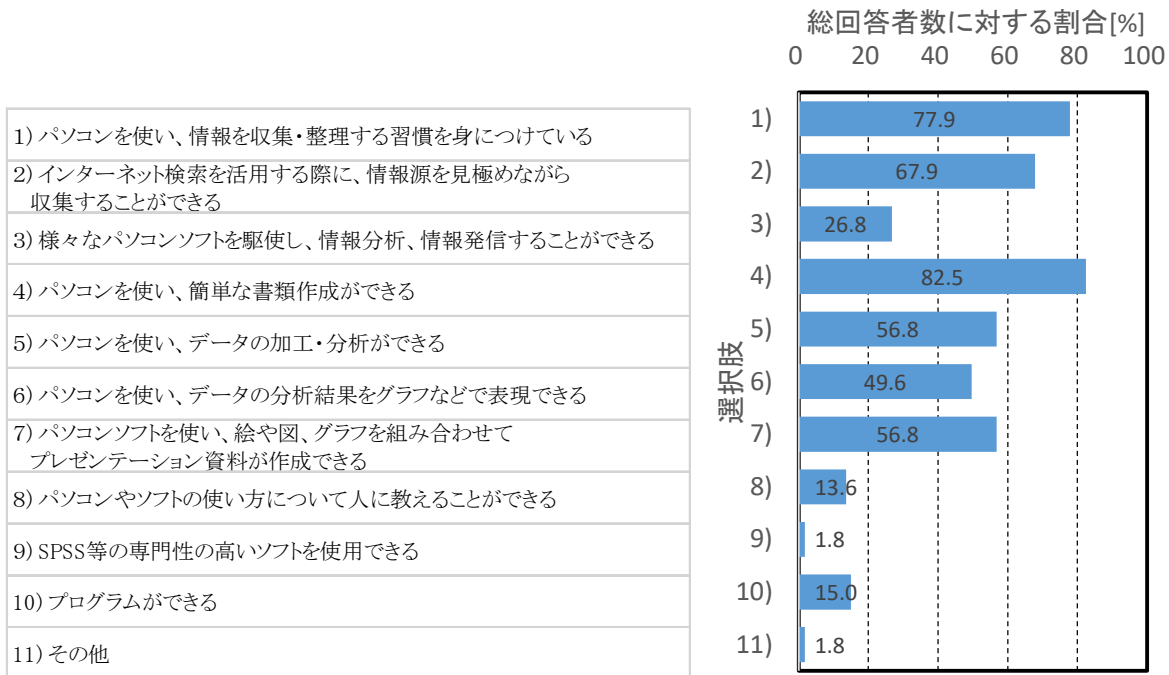


東京都市大学「求める人材・大学教育へのニーズ実態調査」結果概要と考察

2022.1.27
教育アセスメント室
京相 雅樹

有効回答数:281 件

Q9. 貴社が大卒者新規採用者に最低限求める IT スキルの内容は、どのようなものですか。あてはまるものをすべてお選びください。



〔「11)その他」の概要〕

- ・ 課題を発見し、最適に向けて最適な提案を考える力
- ・ 国家資格・IT パスポート習得可能な程度の知識
- ・ 主体性を持っている。会話の受け答えがしっかりできる

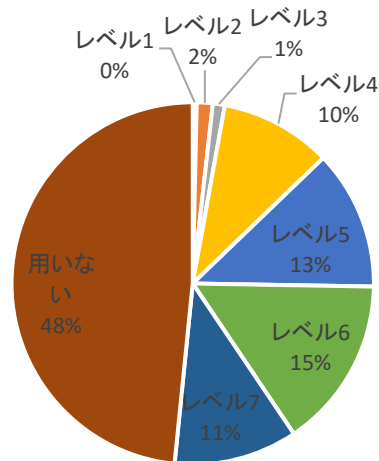
〔考察〕

昨年の調査に引き続き、基本的なコンピュータの使用方法和活用方法に対する必要性を求める回答が多数を占めたと言える。この中で書類の作成に対するスキルが最も求められているが、これは業務をこなす上で当然必要なスキルであり、また大学で学ぶ上でも必須のスキルであると言える。また 1), 2) の情報収集能力に対する必要性も高かった。一方で、3), 9), 10) の回答率は低く、パソコンの高度な利用についてはそれほど重要と考えていないことが読み取れる。

全体として、昨年度の調査と数値の分布は大きく変化しておらず、大学で身につけておくべき IT スキルレベルや姿勢については、基本的なものが身につけていけば当面問題ないと言える。

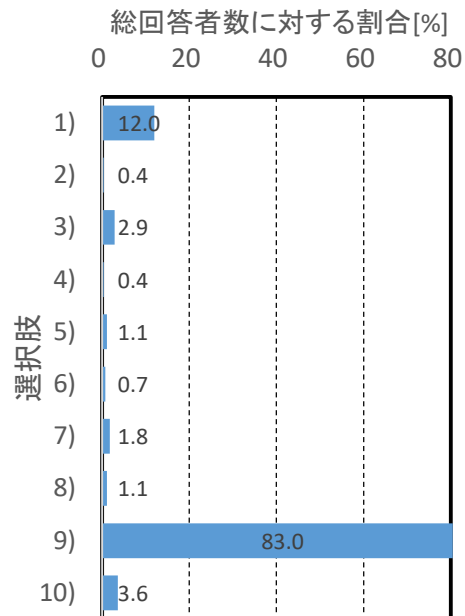
Q10. 貴社の新卒者に求める外国語（英語）のコミュニケーションレベルは、どのようなものですか。最もあてはまるものを1つお選びください。

レベル1: ほぼすべての話題を容易に理解し、その内容を論理的に再構成して、ごく細かいニュアンスまで表現できる
レベル2: 広範で複雑な話題を理解して、目的に合った適切な言葉を使い、論理的な主張や議論を組み立てることができる
レベル3: 社会生活での幅広い話題について自然に会話ができ、明確かつ詳細に自分の意見を表現できる
レベル4: 社会生活での身近な話題について理解し、自分の意思とその理由を簡単に説明できる
レベル5: 日常生活での身近なことからについて、簡単なやりとりができる
レベル6: 日常生活での基本的な表現を理解し、ごく簡単なやりとりができる
レベル7: ごく簡単な表現を聞きとれて、基本的な語句で自分の名前や気持ちを伝えられる
特に外国語（英語）を業務上、使用することはない



Q11. 貴社の業務で、英語以外に必要な外国語はありますか？ あてはまるものをすべて選んでください。選択肢以外の外国語があれば、「その他」を選び、何語かをご記入ください。

1) 中国語
2) 朝鮮語
3) ベトナム語
4) ロシア語
5) フランス語
6) ドイツ語
7) スペイン語
8) ポルトガル語
9) 特に必要ない
10) その他



〔「10)その他」の概要〕

- ✓ タイ語
- ✓ 業務都合によって必要な言語は変わる
- ✓ 「特に必要ない」ことはないが、現状では「ベトナム語」「ロシア語」に長けた方にニーズあり
- ✓ 海外部門なら英語以外の第二言語を習得しておくこと有利
- ✓ 一部、中国語等を扱う部門あり
- ✓ 社内公募での海外勤務時に語学能力を見た上で駐在先国を検討

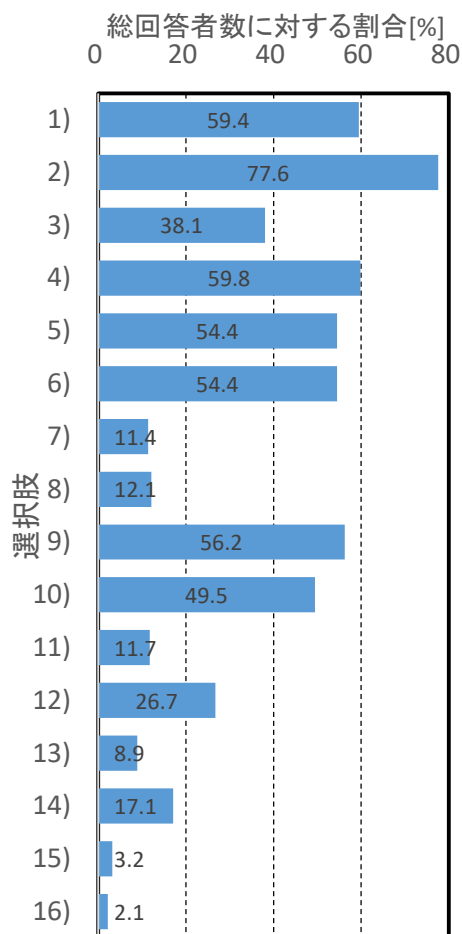
〔考察〕

Q10の結果から、特に外国語を必要としないという回答が約半数を占めた。昨年度調査の37%から大きく増えているが、一方でレベル7の能力については22%から11%に減少しており、「用いない」と「レベル7」を合わせた割合は昨年度と変化がない。6割はごく簡単な英語を身につけていれば良いことになり、その傾向は変化していない。一方レベル5以上と回答した割合も変わらず1/4程度であり、比較的高い語学力を求める企業も相変わらずそれなりにあることが分かる。

Q11の結果からは、外国語として英語を身につけておけば良いと言うことが言える。

Q12.貴社が望む「学生のうちに特に力を入れて経験しておくべきこと」はどのようなものですか。あてはまるものをすべてお選びください。（選択肢以外のものがある場合は、その他にチェックをお選びいただき、その内容をご記入ください。）

1) 教養科目[授業]
2) 専門科目[授業]
3) 演習
4) 実験・実習
5) ゼミ
6) 卒業研究
7) 自主研究
8) 留学・海外経験
9) 部活動・サークル
10) アルバイト
11) ボランティア
12) インターンシップ
13) 地域貢献活動
14) 課外活動等の学外で行う諸活動
15) 特になし
16) その他



〔「16)その他」の概要〕

- ✓ 勉強・研究・部活・アルバイト等、何でも良いので打ち込んだものがあること
- ✓ ソフトでもハードでも物作り、または分解・修理の経験
- ✓ コミュニケーション能力を高めること
- ✓ 学業以外の何か
- ✓ 上記項目の1つでも力を入れて取組んできた経験があれば問題ないです

〔考察〕

回答が多かったのは、昨年度に続き項目 1)～6)の授業科目への取り組みであった。特に専門科目については8割程度が力を入れて経験すべきと回答しており、当然のことながら自身の専門についてしっかり取り組むことが重要であることを示している。

教育課程外における経験としては、部活動・サークル、アルバイトが半数を超えており、この傾向も昨年度と同じであった。「その他」の回答に見られたように、大学以外のコミュニティへの参加によるコミュニケーションスキルの向上を期待しているのではないかと考えられる。また、「その他」では、「何かに夢中になる」、「何かに打ち込む」という回答があることから、学業以外の活動に打ち込んだ経験を期待していると受け取ることができる。

Q13. 貴社が望む「学生のうちに学んでほしいこと」の詳細について、ご自由にお書きください。（有効回答数=226件）

コミュニケーション能力	61
チームワーク・人との接し方	24
専門知識	23
興味のあること・夢中になれること	20
幅広い知識・常識	12
自主性・主体性・自律性	10
課題発見・課題解決	10
論理的思考	8
基礎的情報処理知識・スキル	8
その他	50

[考察]

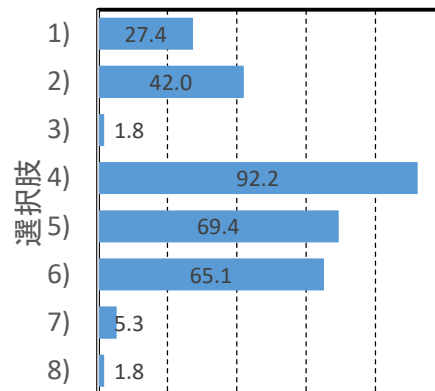
「コミュニケーション能力」は昨年度と変わらず最も多い回答であった。二つ目の「チームワーク・人との接し方」と合わせ、業務をうまく進めるには必須の能力であるとの認識されていることが見て取れる。Q12の回答にも含まれていた「何かに打ち込む」に関しても回答として多くを占めていた。

3番目に多かった「専門知識」、5番目の「幅広い知識・常識」については容易に授業で提供することができるが、一方でQ13の回答としてあげられていた「学生のうちに学んでほしいこと」の内容は、社会生活を営む上で必要な姿勢ではあるものの、特に座学では身につけることが困難な能力である。今後大学生活の中でこのような能力をどのように高められる教育をするかを考えてゆく必要があると思われる。

Q14. 貴社が大卒者の新規採用者に対して、特に重要だと考える項目を3つ選んでください。

総回答者数に対する割合[%]
0 20 40 60 80 100

1) 専門知識・専門科目の学力
2) 基礎学力・一般教養
3) 外国語(英語など)の能力
4) チームワーク、協調性などのコミュニケーション力
5) 言われなくても進んで取り組む姿勢
6) 課題を発見し、解決するための計画を立てる力
7) パソコン操作などの能力
8) 異文化に関する知識や海外でのビジネスマナー



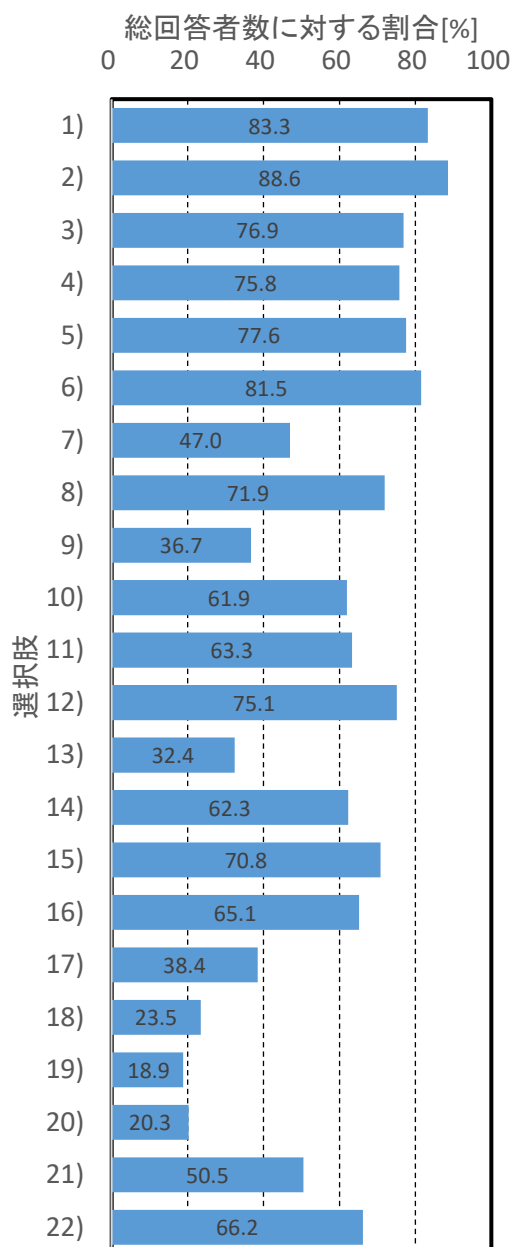
[考察]

昨年度に続き、4)を選択した割合が9割を超えており、最も重要な能力と考えられていることが分かる。また、業務を遂行するために必要な5)、6)の項目が3分の2程度の割合で選択されている点も昨年度の調査と同様であることから、4)~6)の項目は普遍的な重要性を持っていることが分かる。

一方で、3)および7)については低い値となっている。3)についてはQ10の結果から高いレベルを求めない回答が多数となった結果と一致している。また7)についてはQ9でITスキルの必要性が広く認識されていることから、新規採用時にはそれほど能力が高くなくとも、入社後に高めれば良いと考えているように考察できる。

Q15. 貴社が大卒者の新規採用者に対し重要だと考える能力について、あてはまるものをすべてお選びください。

1)収集すべき情報の特性や情報源の信憑性が理解できる
2)図表や文章から読み取った内容の関係を論理的に思考し、構造化することができる
3)いくつかの問題点の中から、解決すべき課題の優先順位を理解することができる
4)いくつかの解決策の中から、制約条件を踏まえて有効な解決策を選択することができる
5)親しくない人に対しても、自分から気軽に話しかける
6)人から相談された際は相手の話を一生懸命聴き、信頼を得ることができる
7)人から相談された際に、本人がやる気が出るよう働きかけをすることができる
8)雰囲気づくりなどを通じてチームに貢献することができる
9)相手や状況に関係なく、はっきりとした主張ができる
10)相手の立場や背景も考慮しながら意見調整を進めることができる
11)ストレスやプレッシャーが効かる場面でも、落ち着いて対処できる
12)難しい課題に対しても前向きに取り組むことができる
13)自分ならではの強みや持ち味を活かせる場면을イメージすることができる
14)初めてのことで、臆せず取り組むことができる
15)何かに取り組む時には、自発的に考え行動に移す
16)取り組んだことに対しては、自分なりに工夫しながら最後までやり抜くようにしている
17)課題に応じ、様々な方法で情報を集めることができる
18)定性的データを客観的に整理し、複数の因果関係の仮説を立てることができる
19)経験のあることならば不確定な部分があっても具体的で妥当な計画を立てられる
20)立案した計画の実現性を吟味することができる
21)計画を実行しながら、遅れや予想外の事態に応じて行動を修正することができる
22)うまくいかなかった場合、原因を追求し次に役立てる

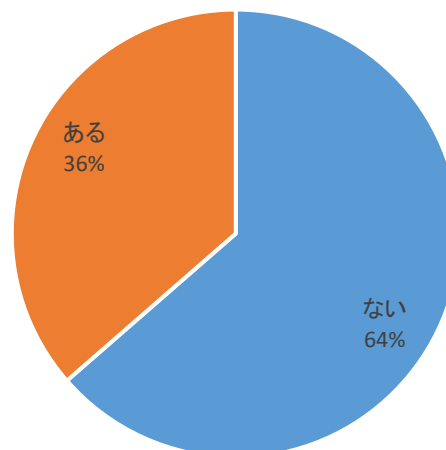


[考察]

Q19 の回答結果と合わせて考察する。

Q16. 急速な社会変化の中で貴社が社会人として求めてきた能力に変化はありますか。

1) ない
2) ある
3) わからない



Q17. 変化が『ある』と回答された方にお聞きします。どのような変化を感じていらっしゃるのか具体的にご入力ください。(有効回答数=92件)

適応力・柔軟性	19
主体性・自律性・自己管理能力	14
情報化への適応	13
想像力・直感・感性	8
コミュニケーション力	5
その他	33

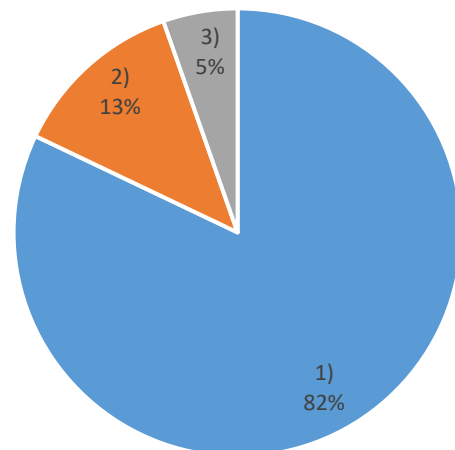
[考察]

全体の 1/3 以上は求める能力が変化していると感じているが、一方で 2/3 は求める能力は普遍的であると回答している。1/3 が多いか少ないかを判断することは困難であるが、求める能力に変化があるとすれば、それは新規採用時の基準が変わることにもつながるので、注視してゆくべきと思われる。

その内容として最も多かったのが「適応力・柔軟性」、次いで「主体性・自主性・自己管理能力」であった。今回の新型コロナウイルスの感染拡大は社会活動に大きな変化をもたらしたが、そのことが回答にも反映されていることが読み取れる。

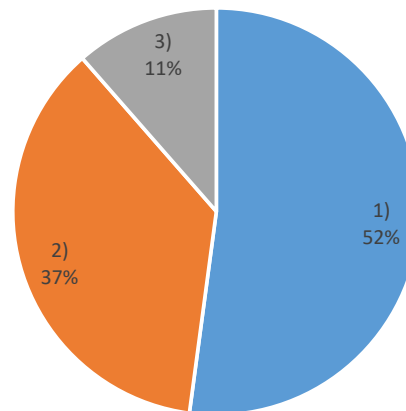
Q18. 貴社に新規大卒採用及び中途採用含めて、『技術者』に現在就業中の東京都市大学の卒業生はいますか。あてはまるものを1つお選びください。

1) 卒業生がいる (SQ1)に進んでください
2) 卒業生はいない Q13に進んでください。
3) わからない Q13に進んでください。



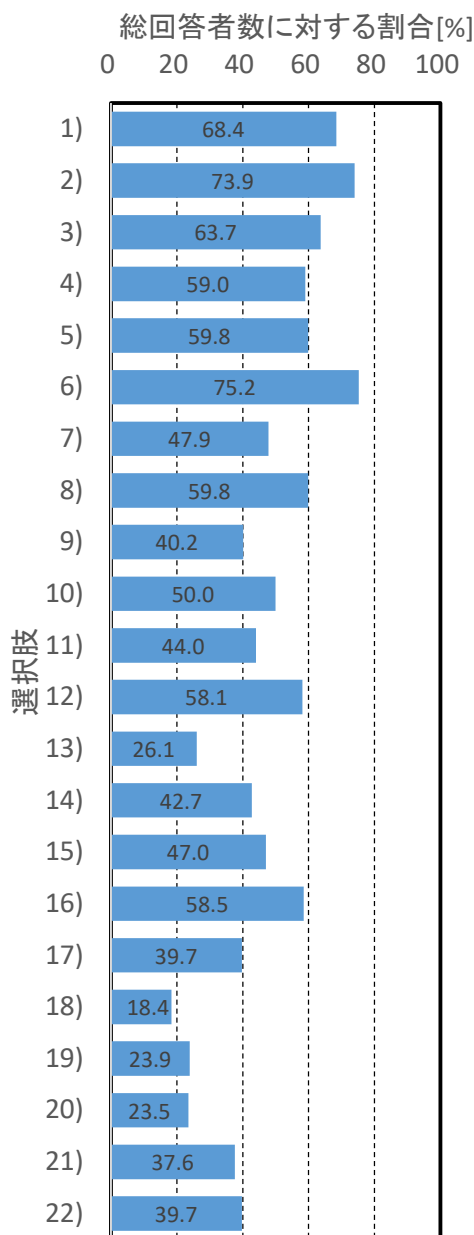
(SQ1) 東京都市大学卒業生の人数は何人ですか。あてはまるものを1つお選びください。

1) 5人未満
2) 5人～30人未満
3) 30人以上



Q19. 貴社に在籍する東京都市大学の卒業生について、どのような感想をお持ちですか。あてはまるものをすべてお選びください。※卒業生が複数、在籍している場合は、全体的な印象でかまいませんのでお答えください

1) 収集すべき情報の特性や情報源の信憑性が理解できる
2) 図表や文章から読み取った内容の関係を論理的に思考し、構造化することができる
3) いくつかの問題点の中から、解決すべき課題の優先順位を理解することができる
4) いくつかの解決策の中から、制約条件を踏まえて有効な解決策を選択することができる
5) 親しくない人に対しても、自分から気軽に話しかける
6) 人から相談された際は相手の話を一生懸命聴き、信頼を得ることができる
7) 人から相談された際に、本人がやる気が出るよう働きかけをすることができる
8) 雰囲気づくりなどを通じてチームに貢献することができる
9) 相手や状況に関係なく、はっきりとした主張ができる
10) 相手の立場や背景も考慮しながら意見調整を進めることができる
11) ストレスやプレッシャーがかかる場面でも、落ち着いて対処できる
12) 難しい課題に対しても前向きに取り組むことができる
13) 自分ならではの強みや持ち味を活かせる場面をイメージすることができる
14) 初めてのことで、臆せず取り組むことができる
15) 何かに取り組む時には、自発的に考え行動に移す
16) 取り組んだことに対しては、自分なりに工夫しながら最後までやり抜くようにしている
17) 課題に応じ、様々な方法で情報を集めることができる
18) 定性的データを客観的に整理し、複数の因果関係の仮説を立てることができる
19) 経験のあることならば不確定な部分があっても具体的で妥当な計画を立てられる
20) 立案した計画の実現性を吟味することができる
21) 計画を実行しながら、遅れや予想外の事態に応じて行動を修正することができる
22) うまくいかなかった場合、原因を追求し次に役立てる

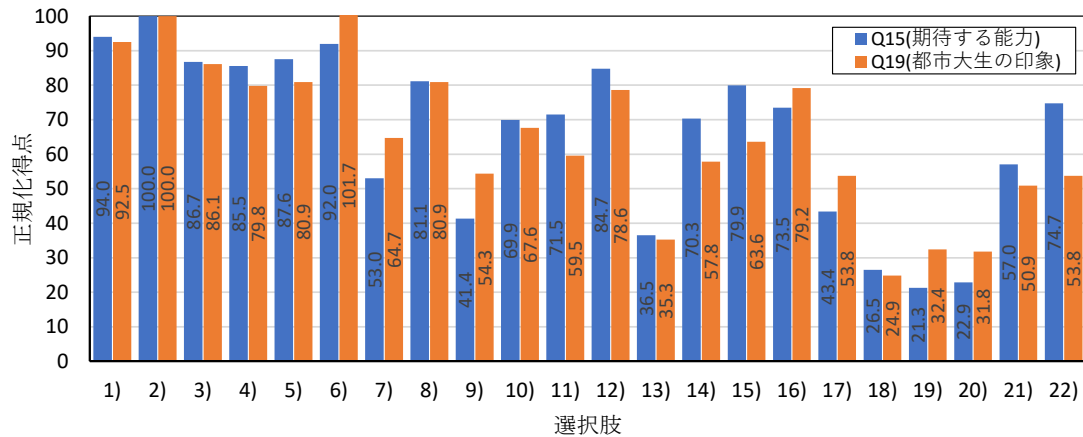


[考察]

Q15 の回答結果と合わせて考察する。

[Q15, Q19 の比較データ]

Q15 では項目 2), Q19 では 2)と 6)の回答率が最も高かった。両データを比較するため、項目 2)の回答率を 100 に正規化し、正規化した Q15, Q19 のデータを並べてグラフにしたものを下記に示す。



求められる能力と都市大生の印象

[Q15, Q19 の比較考察]

重要と考える能力については、Q15 では 1), 2), 6)が 80%を超え、Q19 では 70%前後でいずれも設問項目の中で最も高い値となっていた。1), 2)は入手した情報を正しく理解するための能力である。また 6)はコミュニケーション能力の一つであり、Q15 では 5)の項目も回答率が高かったことから、コミュニケーション能力の重要性はここでもデータに表れていると言える。

図を比較すると、都市大生の特徴として、項目 6), 7), 9), 17~20)の数値が高くなっていることが分かる。6)以外は昨年度の調査と同じ傾向であった。7), 9)は組織を円滑に動かすために必要な能力と考えられ、項目 17), 18)は情報収集と整理、分析の能力、19), 20)は計画の立案と検討に関する能力であり、これらの点が都市大生の強みと考えられていると推察される。

また、求める能力としては、5), 6)がともに高かったのに対し、都市大生は 6)は得意であるが、5)は不得意であるような結果となっており、コミュニケーションの場面ではどちらかという聞き役という印象になっている。また、「自発的」というキーワードでくることができると考えられる 14), 15)の項目および不測の事態への対応に関する 21), 22)の項目が期待に対して都市大生の印象は低い値となっているように見受けられ、今後検討に値すべき課題と考えられる。

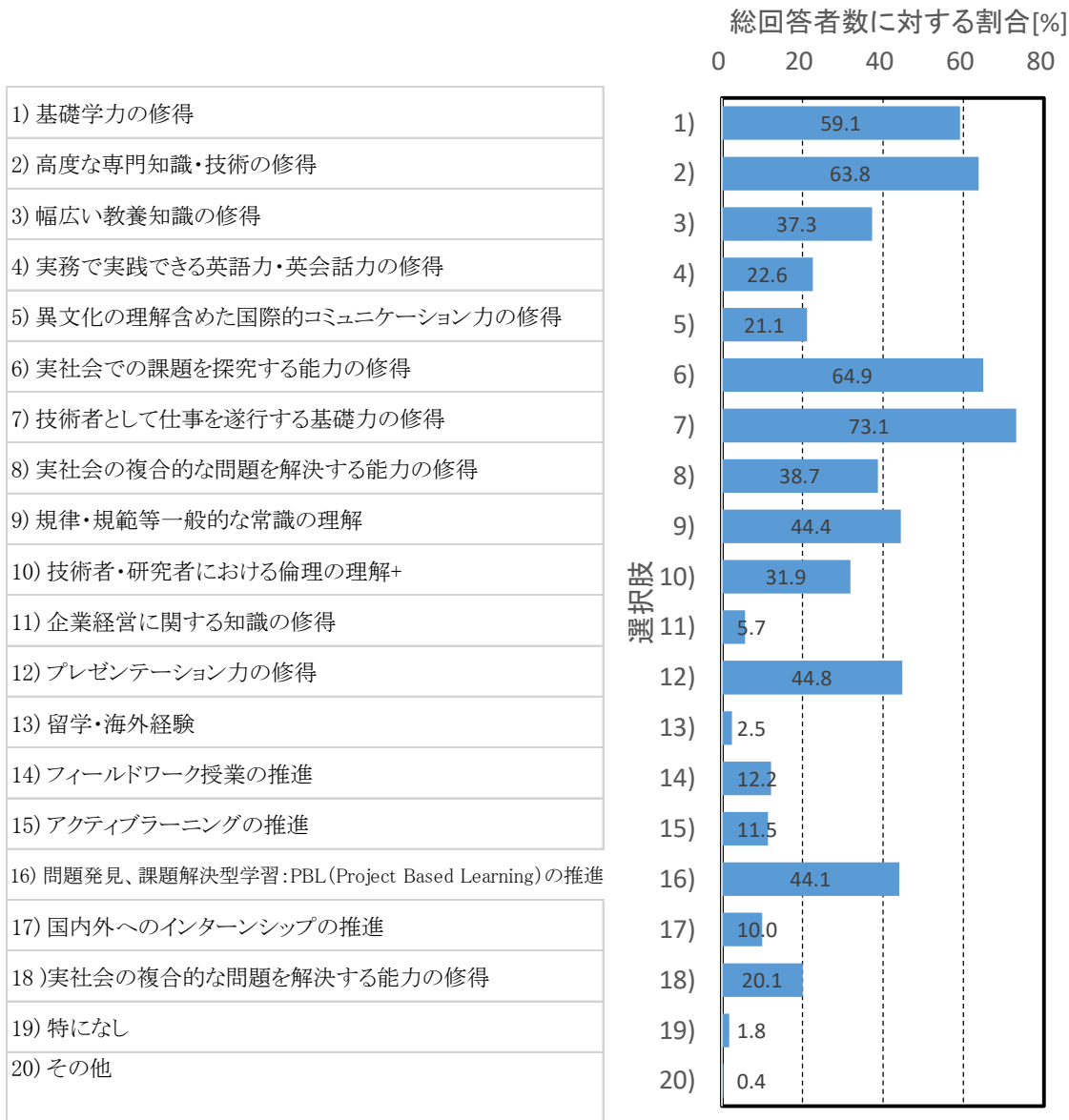
Q20. 貴社に在籍する東京都市大学の卒業生について、上記の能力以外で、評価や感想はありますか。ある場合は、ご遠慮なくご意見を入力ください。(有効回答数=85 件)

真面目・実直・誠実	24
協調性・協働力	12
優秀	8
粘り強さ・完遂意識	6
積極的・前向き・明るい	5
消極的	3
その他	27

[Q19, Q20 の結果についての考察]

Q20 については昨年度に続き、「真面目・実直・誠実」という評価が多く、全体の 30%近くあった。昨年度からこの傾向は変わっておらず、これは明らかに都市大生の普遍的な特長であると言える。Q20 で 2 番目に多かった、「協調性・協働力」も昨年度に続き高い割合を維持している。上位の項目である、「真面目・実直・誠実」、「協調性・協働力」と、Q19 の対人関係に関わる項目である 5)~10)の数値を見比べてみると、どちらかと言えば受動的な立場で組織に貢献する能力を発揮しているのではないかと推察される。Q20 で 4 番目に多かった、「粘り強さ・完遂意識」については、Q19 の選択肢 12), 16)の値が高いことと対応しており、これも都市大生の特長と考えられる。

Q21. 東京都市大学のカリキュラムと科目に対して、貴社が期待していること、要望したいこと等ほどのようなものですか。あてはまるものをすべてお選びください。



〔「20)その他」の概要〕

✓ 平準化するような教育ではなく、独創性を育てる教育。その人の良いところ、個性を伸ばす教育

Q22. 東京都市大学の教育に対するご期待・ご要望等をご自由にご入力ください。(有効回答数=56件)

現状レベルの維持	21
コミュニケーション能力の育成	5
積極性・たくましさの育成	4
その他	25
「教育に対する期待」以外の回答	33

〔考察〕

Q21 より、1), 2), 6), 7)の割合が高い。1), 2)については当然重視している点であり、比較的充実させやすいと考えられるが、6), 7)に関する教育については、今後カリキュラムベース、科目ベースで積極的に取り入れてゆくべき内容であると思われる。続いて8), 9), 12), 16)が高いが、この点についてはPBLの要素を積極的に取り入れ、グループワークを増やすことにより強化が可能と考えられる。

[回答企業の概要]

Q2.従業員数はどのくらいですか。あてはまるものを1つお選びください。

1) 100名未満	11
2) 100名～500名未満	74
3) 500名～1,000名未満	72
4) 1,000名～3,000名未満	67
5) 3,000名以上	57
無回答	0

Q3.業種はどれですか。あてはまるものを1つお選びください。

1) 農林漁業	0
2) 製造業	82
3) 建設業	67
4) 卸売業	11
5) 小売業	2
6) 金融・保険業	1
7) 情報通信業	54
8) 運輸業	4
9) 不動産業	9
10) 飲食・宿泊業	0
11) サービス	27
12) その他	22
無回答	2

(その他)

法律事務所

会社としては建設業であるが、事業部としては製造業となる。

情報処理サービス産業

設備工事，ビル施設管理・メンテナンス

技術サービス業，専門サービス，技術サービス業（非破壊検査業），研究機関等への技術支援
電力

ディスプレイ業（商業施設等の企画、デザイン・設計、施工、監理

建築設計，設計・建設コンサルタント

情報通信建設業

研究開発

独立行政法人

プラントエンジニアリング

Q4.資本金はどのくらいですか。あてはまるものを1つお選びください。

1) 300万円未満	0
2) 300万～500万円未満	0
3) 500万～1,000万円未満	7
4) 1,000万円～1億円未満	50
5) 1億円～5億円未満	77
6) 5億円～10億円未満	12
7) 10億円以上	131
無回答	4

Q5.貴社が所在する都道府縣市町村名をご記入ください。

東京都	178
神奈川県	40
埼玉県	5
千葉県	6
その他(全国各地を含む)	61
無回答	0
複数回答	9